

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年4月12日】第78号



新学期の第一週が無事にスタート

農大稲花小では、4月6日(火)に新入生と保護者を迎えての入学式、そして、7日(水)には始業式が行われました。校内テレビを利用した始業式では、校長から、新しい気持ちで新学期を迎えてほしいこと、さらに、何事にも楽しみながら前向きに取り組むこと、友だちのよいところを発見して仲良く過ごすことなどの講話がありました。本年度、新たに本校に着任した教員2名に加えて、新たに専任となった教員や新たに学校のお手伝いをお願いする職員のご紹介もいたしました。

始業式のその日から、本校は給食があり、また6時間目までの平常授業を行います。新入生も同じです。もちろん、英語の授業もはじまりました。2年生や3年生は、上級生になったという自覚があるようです。登校時の挨拶もしっかりしており、凛々しく見える子どもが多かったです。農大稲花小では1年生から「りか」の授業がありますが、3年生からの「理科」ではじめて教科書を使います。授業のはじめに、理科室の使い方を習い、また、「理科」の教科書を見る3年生の表情も、期待に満ちていました。3年生からは「社会科」も始まります。本校の1期生である3年生が健やかに伸びていく姿を、期待しています。

新入生も、担任や学年担任(副担任)の先生方のお話をよく聞き、自己紹介も元気にできていました。2日目以降も「学校探検」で校内を歩き、職員室、保健室、事務室などを訪問したり、グラウンドに出て皆で鬼ごっこをしたりと、不安なく小学校生活がスタートした様子です。第一週は、新入生が小学校に慣れるために大切な週です。元気そうに見えていても、きっと幼い子どもなりの緊張もあったことと思います。週末はご家庭でのんびりと過ごし、前向きの気持ちで第二週を迎えてほしいと願っています。

入学式のお祝いに

4月6日(火)の入学式には、ご関係の皆様からお花をはじめとして様々なお祝いを頂戴しました。とくに、新入生には、本校の開校を記念して2019年に作製された「東京農業大学稲花小学校の本」、入学記念品として本校から東京農大と本校のスクールロゴである「みのりマーク」入りの特製紅白饅頭(風間堂/群馬県高崎市)や東京農大おこめ3兄弟エコバッグを配布したほか、学校法人東京農業大学内の大学、高等学校、中学校の教育後援会により組織されている東京農業大学連合

教育後援会からは持ち運び用袋付きの箸、東京農業大学稲花小学校教育後援会からは校外学習などに上級生も活用しているナップザック、東京農業大学と産学連携協定を結んでいる企業であるアルファー食品株式会社様からお赤飯、同じく産学連携企業のキューピー株式会社様から殻割りキューピー人形ストラップを頂戴しました。

「東京農業大学稲花小学校の本」は、本校設立の理念や児童に対する期待を理解するために、新入生の保護者の皆様には必ずお目通しいただきたいものです。本校の校歌「東京農業大学稲花小学校の歌(作詞：谷川俊太郎先生、作曲：谷川賢策先生)」のCDを付録としてしていますので、ご家庭で新入生とともに校歌の練習をするのは、いかがでしょうか。

入学式を無事に終えた今、学校法人東京農業大学をはじめ、ご関係のたくさんの方々の応援に感謝するとともに、たくさんの方々の見守りの中で、新入生が大きく育っていくことを願っています。

東京農業大学教育後援会 <https://www.nodai.ac.jp/kouenkai/>

アルファー食品株式会社 <https://www.alpha-come.co.jp/index.html>

キューピー株式会社 <https://www.kewpie.com/>

マナーを守って楽しく通学

本校では、児童がマナーを守って安全に通学できるようになるまで、保護者による登下校の送迎をお願いしています。登校時と下校時、また、曜日や季節によっても通学路の様子は違いますし、子どもの体力や理解力を見極める必要があります。とくに、子どもたちだけになると、マナーが守れなくなる例も見られます。児童の通学についてはまず、それぞれのご家庭でのご指導をお願いすることとしています。子どもたちがマナーを守り、安全に通学できるように、保護者の皆様のご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止を第一に

新型コロナウイルス対策として、4月12日(月)から東京都にも「まん延防止等重点措置」を適用することが、政府により決定されました。これからも、新型コロナウイルス感染防止を第一の日々が続きます。

本校では、マスク着用、手洗い、換気などに努め、それぞれの授業が終わる前の5分程度を手洗いや換気の時間として確保しています。また、教具の共有を極力少なくし、必要な消毒も適宜行っています。給食を黙って食べる「黙食」は、すでにしっかりと定着しているようです。

元気に大きな声を出したい、友だちとじゃれあったり取っ組みあったりしたい、というのは当然の望みでしょう。合唱や群読、あるいは顔を寄せ合って相談する、一つの物を共有して協力し

合うなども大切な学びの機会です。しかし、そういったことが今は、日本中の小学校でできません。本校の児童にも我慢を強いていることが多くありますが、学習の遅れや心身の発達の遅れがないように、教職員は様々に工夫をしていきます。また、感染防止策が取れると確認できる場合については、できる限り平常あるいは平常に近い学習活動を行う予定です。子どもたちも頑張っています。保護者の皆様にも、感染防止を第一にお過ごしくくださいますようお願いいたします。



2021年度 東京農業大学稲花小学校 教職員一同

校長 夏秋 啓子